平成31(2019)年 1月7日発行 第97号

たくさん こびとのおうちえんLetter 1月号

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。
年始始、我が家は全員集合、11人。ギュウギュウ。うたっておどる新年会やクイズ大会。1.5km先の神社まで、ジョギングして初もうで。お店もない田舎なので、昔から外食もせず、自分たちであるいたり、あそんだりして、が我が家のすごし方。それが幸せだなあとおもいました。毎日の温泉と、帰るたびにやっぱり出会う、野生のサル、シカ…。
さてさて、気もち新たに毎日を作っていきたいと思います。とりくんでいきたいことへも動こう。あきらめずにやっていこう。

＝1月のスタッフプラン＝

・クサギの実で染め物をしよう

23日(水) おべんとうのひ

※おべんとうの準備をお願いします。

お知らせとお願い

・親子でおうちえんの日 2/3(日) 9:30～14:00

おもちつき、どんどやき、けいドロ、山たんけん etc…
大人もいっぱいあそびましょう！やりたいことのある方は教えて下さいね。昼食は、おもちとお汁です。
マイカップ、皿、おわん、はし等、ご持参下さい。
人数の確認をしたいので、前日までに出欠の有無、参加人数についてご連絡下さい。

・3/1(金)～2(土) 卒園おとまり会（年長児）

通常保育後 10:30a.m.
いっしょにごはんを作り、たき火を囲んでカンパイ！星をながめたり、おフロに入ったり、スタッフと卒園生のスペシャルプランです。やりたいことをやって、心に残る1日をすごせたらと思います。よろしくお願いします。

・3/27(水) たびだちの会（今年度最終日）

6人の卒園生のたびだちをみんなでお祝いしましょう。あったかい気もちで歩みだせるような「しゅっぱつ！」の会にできたらと思います。詳しくは、また改めておしらせします。

・来年度の定員にあと2名空きがあります。お知り合いの方で興味のある方がいらっしゃれば、ご紹介下さい。よろしくお願いします。

＿＿＿＿＿＿ の様子をおしらせします。

たんじょうび おめでとう!!

14日 なかむらともやくん（4さい）
16日 おおかわかんせいくん（6さい）
25日 きばしももこちゃん（4さい）

1月のお母さんグループ

16日(水) 13:00～15:00
場所 大野地区老人作業所
内容 「ひかると語りましょ」
この日は、お父さんの参加もOKです！ぜひどうぞ。

※参加する方は、事前にご連絡下さい。当日OKです！

12月はこんなことしました

・弥山登山 ・鮒飯作り
・山たんけん ・かんけり
・ポンポン飯をたく
・みかんもぎ
・はっぱと枝のかざり作り
・ゆずしぼり、ゆずはちみつジュース作り
・X'masリース作り
・伊保庄へ山こえて歩いていく
・石うすの露天ブロ
・いのししシチュー作り
・はっぱでお茶作り
・身体測り定
・ひみつきち作り、ひみつきちで遊ぶ
etc…

ひかるのコーナー 「遊ぶとは」

「遊ぶ」というのは極めてシンプルで、同時に複雑な行動だと思う。またとても基本的でかつ高度な活動だと思う。

普遍的な意味はなく、必然性も後ろ盾もない。面白いとか楽しい以外に目的もない。仕事みたいにこなすなんてのもない。対価も制約もないから、面白ければ変幻自在だけどつまらなければポシャる。ただそこには自然現象に似たダイナミックさと清々しさがある。一方、店やTV、大人に用意された遊びには「価値」が存在し、一定の価値観や格差で覆われ、息苦しさがある。その世界に入った瞬間、遊びは一瞬にして指し示されたゴールに向けた競争や二項対立に変質させられ、敗者を作ったり、薄っぺらい正義や悪を生み出したりする。そのフィルターは徐々に子どもの自分自身へのピントを狂わせていくのではないか。

本来、遊びにはそんなゴールもなければ指針もない。だからたまに迷子になる。自分の内側からにじみ出てくるひらめきや自分の感情の機微を感じることが第一歩だが、ついつい周りをキョロキョロし模倣したり、何人かで暗黙のルールを作って束の間の安心感を得ようとする。でもそんな時は、思いっきり迷子になって自分なりの次の一歩を踏み出す。その瞬間に意味があるのだと思う。

つまりは自分の中に生まれた「ふわっと」したものを安心して表現できるかどうかにかかっている。環境だけでなく、性格や個性にも大きく左右されると思うが、それさえできれば無限に遊ぶと思うし、そうだという実感もある。

遊びは失敗の連続だ。そもそも思いつきを完璧に実行なんてできない。でも逆に失敗なんてのはないとも言える。要は捉え方次第。大事なことは「認められる」ことだ。画がどんな色だろうが、工作がどんな形だろうが「それ」を認めてほしいのだと思う。ただ褒めるのではなく。

遊びという言葉にはもうひとつ意味がある。気もちや物のゆとりのことだ。これも子育て環境や人間関係の変化の中で子どもの周りから消えていっているように思う。自然との関わりは乏しく、画面や大人からの一方的な情報やルールで頭はいっぱい、遊ばせるための物で周りはいっぱい、そんな遊びのない状況で遊べなんて言われても無理なんだと思う。つまりは遊び(ゆとり)のない空間に遊び(楽しさ)は存在できないのだと思う。もっと言えば「遊ばせる」ことは子どもからワクワクを奪っているように思う。

僕はこんなこと考えながら、遊ぶ時は全部置いといて、その時の直感に身を任せる。周りに合わせたり、他人に一言言うこともあるけどそれは後回しにして、自分でまず一歩踏み出すようもっと心がけたい。

屋敷 輝

さんぽの帰り道。ろくだいが直路にすわりこんで自分のかげを見ている。手をうごかしたりして、かげ絵のよう。それを1人ですわりこんで無言でやっている。しずかな、だが心が忙しく動いてる時間。(12/25)

木の切ってあるところを通るとき、たくさんのてかり株をみて、ももこ「これは、金太郎さんたちが切ったのかなぁー」(12/25)

朝、つめのびてる子のつめ切りしてた。ほのこのつめも、少しのびている。ほのこにふと、「ほのこ、って自分でつめ切ったことある？」ときいたら、「ううん、でも、つめきりやってみたいと思ってちょった。でも、あぶないって。」そこで、「そうかー、今、やってみる？」ときいたら、「うん！」ほのこは、少し緊張しながら、でも、ていねいにパチンと自分のつめを切っていった。やってみたいと思ったら、次はやろうと自分できめること。ほのこは、うれしそうだった。前の日、私が庭にたくさんたまった落ち葉をそうじしてた時、ほのこが、サッとちりとりを出した感じに似てた。自分で考えて動くのが気もちいい。そんなかんじ。ほめてじゃなし。「自分から」に自信なさげな時がある。ちょっぴりづつでいい。正解をさぐったり、人の目を気にしたりを捨てて、自分の感覚を信じていってほしいのだ。(12/6)

雨の中、かっぱ姿で、りょうすけが穴ほり。つむぎはパッツリ枝、ほのこ、てんこもシャツにパッツリ姿で穴ほったり、水をくんできて入れたり、ぐじょぐじょになってあそんでる。ひかるは別に、大きな石うすを運んできて、その中に沸かした湯を入れて、露天ブロをつくる。その中にはだかになってつむぎ、ほのこ、てんこが順番に入り、いつのまにか行列。りょうすけ、いつき、るいらが交替で入ってた。すてきじゃ～～♪ (12/6)

みんなでキッチン。本日のメニューは、大根葉飯、いのししシチュー、大根の蒸物。野菜は、ひかるの畑から。いのしし肉は、水田家からわけてもらう。何にも買わずにできた。私は、葉飯担当した。大根葉を炊きこむのは、初めてだった。こげてしまったのは、ざんねん!!でも、人気だった。いのししシチュー、とってもシブい味深い味わい。肉も、とっても油がのってやわらかで臭みも全くなくおいしい。脂肪のところもプルンとしておいしい。あらたが「他の肉の脂は、たべれんけど、これはおいしい。」と言った。イノシシさん、水田さんありがとう!!

そうそう今月は12/1、前日海でもらった4Kgで鮒めしをひかるが炊き、12/11ポンポン飯をふっくんがたき、と野外でつくったおいしいものたくさんいただいた。今日もだけど、なぜか雨の日と重なる…。が、しかし、雨であることが、そんなに問題でなく、やれているというのがうれしい。今日も雨がポッポッしたりやんだり、ふり出しそうになるといちだい、かんせい、あらた、ひろと らが すぐに動いて、でっかいコンパネの板をはこんできて、オール乳業の段を重ねてつくった4本の柱の上においと屋根をつくる。見事じゃー！(12/26)

おっこのちょっことおうちえん日誌 ―日々のあれこれ―